

# はしょうふう 破傷風ってどんな病気？

## どんな病気？

- 破傷風は、破傷風菌が産生する毒素によって引き起こされる感染症です。
- 発症すると、口が開けにくい、首筋が張る、体が痛いなどの局所症状が現れ、その後、体のしびれや痛みが体全体に広がり、全身を弓なりに反らせる姿勢や呼吸困難が現れます。重篤になると呼吸筋の麻痺により窒息死することがあります。
- 潜伏期間は3日～3週間（平均1～2週間）です。
- 都内での発生報告は、近年は年間10件未満で、約7割が65歳以上の方です。

東京都における破傷風報告数（2020年～2025年7月末）

2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 7月末
8件	4件	6件	7件	3件	4件

## どうやってうつるの？

破傷風菌が傷口から体の中に入ることによって感染（経皮感染）し、破傷風毒素を産生します。人から人に直接感染させることはありません。

## 治療法はあるの？

創部の治療には抗菌剤（メトロニダゾール、ペニシリン等）を使用します。体内の毒素の中和には抗破傷風ヒト免疫グロブリンを用います。その他に、筋けいれんの治療や重症度に応じて呼吸管理が必要となります。

## 予防法はあるの？

破傷風は深刻な疾患ですが、予防が可能です。

### 👉 ワクチン接種

- 破傷風ワクチンの接種が非常に有効です。通常、定期予防接種で5回（第1期：乳幼児期に4回、第2期：10～11歳に1回）のワクチン接種を行います。  
※年齢により、接種の有無・回数等が異なりますので、確認してください。
- ワクチンの効果は、正しく接種することで約10年間の免疫を獲得できます。
- 最終接種から10年経過した方は、追加の予防接種が必要です（任意）。
- 万一、汚染された場所や深い傷を負った場合には、ワクチン（破傷風トキソイド等）の接種を検討する必要があります。

### 👉 傷をつくらない

- 野外での解体作業、農作業や庭仕事、磯遊び、ボランティアの清掃作業等を行う場合や動物との接触では、切り傷・刺し傷ができないよう、衣類や靴、手袋等で皮膚を保護し、ケガをしないように気を付けましょう。



動物に注意！ ケガに注意！

### 👉 傷ができてしまったら

- すぐに清潔な流水で傷口を洗い流し、清潔を保ちましょう。
- 医療機関に連絡し、状況を伝え、ワクチンの相談をしてください。



**注意：**2025年8月、ケガの後に接種するワクチンとして広く使用される破傷風トキソイドの供給不足が懸念されています。医療機関によっては、一時的に破傷風トキソイドが不足している場合がありますので、ケガをしないように十分注意してください。